



No.478

平成20年(2008)

12月号

広報

金武

人口のうごき

総人口	11,109人(14)
男	5,494人(12)
女	5,615人(2)
世帯数	4,813戸
(各区分人口)平成20年8月末日現在	
金武	4,840人(20) 転入 36人
並里	2,686人(-1) 転出 27人
中川	921人(-5) 出生 13人
伊芸	937人(-1) 死亡 8人
屋嘉	1,725人(1) 結婚 7件
	離婚 1件
()内は増減を表す	



▲金武町文化協会の会員のみなさん(感謝状受賞者)



金武町文化協会 20周年

語ろう！金武町琉球紅茶 育てよう！金武町発JAPANブランド



▲基調講演を行った三宅曜子さん



▲コーディネーターの伊敷豊さん

十月三十日、町立中央公民館大ホールで、金武町JAPANブランドシンポジウム(主催…金武町商工会)が行われました。

第一部では、株式会社クリエティブ・ワイズ代表取締役の三宅曜子さんを講師に迎え「みんなで作る、金武町の紅茶を世界トップブランドに！」をテーマに、基調講演が行われました。

基調講演の中で、三宅さんは「JAPANブランドは特産品開発ではない。日本最高の物を世界に出していくこと。金武町全体で取り組んで行かなければ、世界には乗り出せない。みんなで作って行くことが大事」と述べ、ひとつになつて取り組んでいくことの重要性を訴えました。

第二部のシンポジウムでは、コーディネーターに地域ブランドアドバイザーの伊敷豊さん、パネリストに中小企業庁経営支援部・経営支援課長の岸本吉生さん、朝日新聞社石巻支局長の高成田享さん、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究所・野菜茶業研究所沖縄茶業研究所拠点長の根角厚司さん、株式会社沖縄ティーファクトリー代表取締役の内田智子さん、町役場産業振興課主幹の与儀実栄さんを迎え、「金武町発 琉球紅茶で産業連携」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

内田さんは「金武町の土地は、日射量が多い、肥えすぎているという点で、紅茶栽培に適している」と述べ、金武町での紅茶栽培の適性を説明しました。

高成田さんは「琉球紅茶を飲んでみたが、鼻から香りが抜ける、世界で通用するお茶だった。今後、健康への効能等を研究していくことで、さらにブランド力が高まるのではないかと述べ、今後に期待を寄せました。

岸本さんは「琉球紅茶の産業連携については、まず良質の紅茶をつくることが大前提。そして外部の人物を知る人達といかに繋がるかが大事。ネットワークが一番の成功の秘訣」と、繋がり的重要性を述べました。

▲朝日新聞社石巻支局長
高成田 享さん▲中小企業庁経営支援部
経営支援課長 岸本吉生さん▲独立行政法人農業・食品産業技術総合研究所・野菜茶業研究所沖縄茶業研究所拠点長
根角 厚司さん

根角さんは「産業連携は柱がしっかりしていないとぶれてしまう。柱がしっかりとできていれば、いろんなものに結びつく。紅茶は作っただけでは売れない。農業と商業がどう連携するかが大事。意識を高めて欲しい」と、柱の構築と連携の重要性を訴えました。

与儀主幹は、金武町における紅茶栽培の現況を説明した後、「町の立場として農家を育成していくが、その中で、生産から販売までの一連の流れをつくって展開していきたい」と、今後の展望を述べました。

会場の外には、スペシャルイベントとして、琉球紅茶の試飲会や、紅茶を使った煮玉子やアグーのスモークの試食会も行われ、参加者らは初めて食べる味に舌鼓をうっていました。

また、シンポジウム終了後には、琉球紅茶産地バスツアーも行われ、大勢の参加者が、紅茶畑等を見学しました。

金武町の琉球紅茶が JAPANブランドに認定されました！

—JAPANブランドとは？

日本各地でものづくりの伝統や技術・技能が育まれ、地域の中でより磨き上げられた自然、伝統、文化、暮らしを世界へ発信できるものに育成する「JAPANブランド育成支援事業」に採択された事業がJAPANブランドです。

▲株式会社沖縄ティーファクトリー
代表取締役 内田智子さん▲町役場産業振興課主幹
与儀 実栄さん

「笑いが一番、

笑顔が一番」



▲参加者も自然と笑顔に…

十月二十二日、町立中央公民館大ホールで、心理療法師・笑脳開発士の真栄田絵麻さんを講師に迎え、「あなたの笑顔がなによりも薬」笑いが一番、笑顔が一番」と題し、教育講演会（主催：金武町PTA連合会）が行われました。

講演会の中で、真栄田さんは「悩みに向き合ってください。『自分を成長させる悩みだ』と真剣に向き合えば、必ず解決します。ま



▲ずっと笑顔で講演する真栄田さん

た、前向きな言葉を使ってください。ポジティブな考えを持つと、自然と笑顔になります。『笑う門には福来たる』は本当。みなさんの笑顔が、子どもや家族にとって何よりの薬です」と、笑顔と言霊の重要性を述べました。

また、参加者全員で、笑顔と前向きな言葉を発するためのデモンストレーションも行われ、参加者のみなさんは、はじめの内は少し照れながらも、だんだん笑顔になっていました。

ツール・ド・おきなわ
2008

11月8日、9日の2日間、名護市民会館をメイン会場に「ツール・ド・おきなわ2008」が行われました。

大会は、国際ロードレース部門、市民レース部門、チャレンジサイクリング部門等に分かれて行われ、チャレンジサイクリング部門の沖縄本島一周コース（313km）では、金武町に昼食会場が設けられました。

9日の昼食会場となったネイチャーみらい館では、たくさんの参加者がサイクリングの疲れを癒し、食後にはまた、小雨の降る中、ゴールに向けて出発しました。



▲疲れもみせず笑顔でVサイン

あなたのところが軽くなる！
～福祉のまちづくり学習会～

この度、金武町・宜野座村・恩納村の3町村合同で、「あなたのところが軽くなる！～福祉のまちづくり学習会～」が行われ、11月5日には、金武町総合保健福祉センターで「うつに感謝 生きる喜び」を演題に、新垣賢昇さんによる講演会が行われました。

新垣さんは、自身が10年間にわたってうつ病に苦しみ、回復に至った体験を語ったうえで「対人サービスのプロだからこそ“うつ”になる。目の前の人を大切にし、自分を大切にしていなかっただけ。自分の中のSOSを受け入れ、身近な人に打ち明け、休むことが大切」と訴えました。

講演会にはたくさんの方が訪れ、新垣さんの話に熱心に耳を傾けていました。



▲体験をもとに講演する新垣さん

第4回 金武町クリーン ふるさと大発見

青年会と中学生が一緒に美化活動を行うことで交流を深めるとともに、ふるさと金武町の魅力を再発見することを目的に、第4回金武町クリーンふるさと大発見(主催…金武町青年団協議会)が、十月二十六日に行われました。

今回は町青年団協議会と町内五区の青年会、金武中学校の生徒および先生方、合わせて約四五〇名が参加し、それぞれの出身区に分かれて国道や公園等のゴミ拾い、約二時間の作業で二屯トラック三台分のゴミが集められました。

町青年団協議会の安富祖健会長は「この活動は、青年たちと中学生が交流を持てる数少ない場のひとつ。一緒に頑張って清掃し、交流を深めることで、中学生の健全育成の手助けが出来ればいいと思う。これからも活動を継続していきたい」と、活動の意義を述べました。



▲並里区の中学生と青年会のみなさん

「育てよう美ら島 花・緑」

平成20年度沖縄都市緑化月間(主催:沖縄総合事務局・沖縄県・市町村)にちなみ、11月1日、町内の造園業者が緑化活動を行いました。

沖縄都市緑化月間は、県民の緑化意識の高揚を図り、都市緑化を推進するために実施されているもので、本町では(有)ナカムラ造園土木、(有)外間造園土木、(有)喜本産業の3社が参加し、町道227号線の街路樹の剪定およびスポーツ広場内の樹木の剪定作業を行いました。

今回の活動は、業者から「町の街路樹等の剪定を行いたい」との申し出により、金武町としては初めての試みとして行われたものです。



▲緑化活動を行った町内造園業者のみなさん

第31回 おきでん対話旬間清掃活動

11月5日、沖縄電力・沖縄プラント工業の職員らが、国道沿いおよび発電所通りの清掃活動を行いました。

この活動は、地域との心のふれあいを目的に開催される「第31回おきでん対話旬間」における地域奉仕活動・環境活動の一環として実施されたもので、両者、関係者合わせて約45名の職員が参加して行われました。

参加者は、マックスバリュ前と農協前の2班に分かれて、歩きながらゴミ拾い等を行い、約1時間半の作業で、たくさんのゴミを集めていました。



▲清掃活動を行った沖縄電力と沖縄プラント工業のみなさん



町長と町民を 結ぶコーナー

ゆいまある



町民からのご意見

ご意見① 反省をされては

先日、ネイチャーみらい館で行われた、自然体験まつりでも、町の偉い人たちが、お酒を飲んでいらっしゃるいましたが、町外からこられた人たちから見れば感じのよくない光景だと思います。それに、ネイチャーみらい館は、町外の人達、特に学生や子供たちが、自然とのふれあいや体験に来る場所ですので、偉い人達は反省をされてはいかがですか。お酒の飲み方、飲ませ方は、大人として、高校生の母親として、考えさせられます。特に、ネイチャーみらい館では、使用目的の施設からして お酒などを禁止にしても良いのではないのでしょうか。

【回答】 自然体験まつりにお越しいただきありがとうございます。

ご意見のありましたことに関しまして、不快に思われた方にはお詫び申し上げますとともに反省いたします。

当該施設は、様々な体験をとおして感動していただく場所となっております、利用者も老若男女、多種多様となっております。体験内容も、自然、農業、漁業等となっておりますが、その中には語らいの場、もしくは、飲酒をしながらの場面もあるかと思えます。

今後は、一般常識や施設利用の秩序を勘案し、一定のルールを設けた上で、町と指定管理者が協力し、より一層満足していただけるような施設として利用していただけるよう取り組んでいきたいと思えます。

ご意見② 福祉のまちづくりを

国道 329 号線を通勤路としています。朝は、学校へ急ぐ児童生徒、ウォーキングを楽しんでいるご夫婦、車いすで買い物帰りのご老人といろんな姿の町民を目にします。今日も、町の日が始まる活気ある光景です。しかしながら、残念な光景が目に残ることもしばしばあります。

第1ゲート前の歩道や琉球病院前の歩道に堂々と車を駐車しているというモラルに欠ける行為です。歩道です。目の不自由な方の点字ブロックもあります。我が家の庭と勘違いしていませんか？

みんなの歩道です。私物化するのは止めていただきたい。

学校へ急ぐ子ども達、朝の新鮮な空気を求め楽しくウォーキングするご夫婦、車いすで家路に急ぐご老人に気持ちよく道を開けてください。

福祉の町づくりは町の憲章です。

【回答】 歩道や駐車禁止区域への違法駐車につきましては、ドライバーのモラル向上に期待するところですが、町としましては、警察や交通安全協会等と連携を図り、指導を徹底したいと思います。

町民憲章にもありますように「福祉のまちづくり」は町の目指すところであり、町民の皆様にとって、住みよい町となるように、これからも関係機関と連携しながら取り組んで参りたいと思えます。

ご意見③ お願い

僕は、内地に出稼ぎにきていますが、今度の、世界同時金融危機でリストラに合います。もし、金武町に働く所があれば、わざわざ、内地まで出稼ぎに来ません。金武町の若者の出稼ぎ者が100とも、200人とも言われていますが、僕らは、金武町で働きたいのです。その若者のために、何とか、内地から工場を誘致して頂けませんか？僕は、肉体労働しかできませんので企業を誘致して下さい。お願いします。

【回答】 金武町では、雇用対策の一環として平成18年度～19年度にかけて特用林産物（ぶなしめじ）生産出荷施設を整備し、19名の新規雇用を行いました。その内2人は、生産技術等を有している株式会社タカラバイオからの派遣となっておりますが、その他17名は町民となっております。その時の雇用条件としては、資格や経験を問わず採用させていただきました。

一方、今後（数年後）については、ギンバル訓練場跡地利用を進めて、医療関係やホテル等の整備や誘致を行う雇用場をつくっていきたくと考えています。また、その他の事業としても特産品加工施設等の農産物加工に関する事業もあり、そこでは、様々な職種で相当数の採用があると思えます。ただし、その職種の中には、専門知識・技術を必要とするものもあると思えます。

町では、新しい雇用の場にできるだけ多くの町民が採用されるように、想定される職種、人数を把握し、必要な資格・技術を取得できるような事業（研修等）を来年度（平成21年度）から実施する計画をしています。

以上のような事業を町民の皆様にご利用していただき、雇用状況の改善を図っていききたいと思えます。

これからも町民の皆様からのご意見をお待ちしております

文化祭



十一月十二日から十六日までの日程で、第一回金武町文化祭(主催…金武町文化協会)が、町立中央公民館で行われました。

金武町文化祭は、町民の文化の創造と振興に努めるとともに、優れた人材の発掘・育成並びに会員の技術向上、町の文化力の向上を目的に、今回、初めての試みとして行われました。



◀松堂彩子さん(金武小4年)による「カーミカーミ」



▲中川小の児童による島くとうば劇「まぎーたーむー」

第1回 金武町しまくとうば大会・子ども芸能祭

十五日に行われたしまくとうば大会は、自分の「生まれじま」や「しまくとうば」に関心を持ち、普及・継承のあしがかりにすることを目的に、今回初めて開催され、個人、団体合わせて二十九名の小学生が参加し、「しまくとうば」を披露しました。

「カーミカーミカーミ」等の笑い話、「ももたろう」の紙芝居、「まぎーたーむー」の劇がしまくとうばで演じられ、少し詰まりながらも、一生懸命話したり演じる姿に、会場からは大きな拍手が送られていました。

子ども芸能祭は、「健やかに育て!!金武町黄金玉わらび」をテーマに行われ、器楽合奏や琉舞、ダンスに空手、棒術、獅子舞等、様々なプログラムで、大人顔負けの演舞を披露し、観客を魅了していました。最後は出演者全員が入り乱れてので力チャージで幕を閉じました。



◀迫力の空手演舞
琉舞「黒島口説」▶



▲琉舞「鳩間三味」



▲出演者全員での力チャージ



▲大人顔負けの獅子舞

華々しくテープカット▶



第1回



金武町

文化祭では、写真や工芸、絵画、生花等の展示や、しまくとぅば大会と子ども芸能祭、十六日には文化協会による古典音楽や琉舞、民謡等の舞台発表が行われました。また、町文化協会が二十周年を迎えることから、大勢の会員が参加し、記念式典と祝賀会も行われました。



▲美しい「華道」の展示

金武町文化協会20周年記念式典・祝賀会、舞台発表

十六日には、金武町文化協会の二十周年記念式典・祝賀会が行われました。式典に先立って行われた舞台発表では、町内の各研究所・道場のみならず、大正琴や太鼓の演奏、琉舞や民謡、古典芸能が披露され、美しい音色や、力強い舞踊に、会場からは拍手や指笛が鳴り響いていました。

記念式典では、全員で町歌を斉唱した後、歴代の金武町文化協会会長の他、功労者へ、感謝状が贈られました。式辞を述べた金武町文化協会の宮内哲至会長は「二十周年を新たな出発とし、今後も文化の振興・発展に力を注いでいきます」と、力強く今後の町文化協会発展を誓いました。

式典終了後には祝賀会が行われ、たくさんの関係者が参加し、町文化協会の二十周年を祝うとともに、鏡割りや、様々な余興で祝賀会に花を添えました。

記念式典・祝賀会



▲式辞を述べる宮内会長



▲金城平枝道場による「寿の舞」



▲沖縄ヤカラーズによる民謡



▲20周年を祝して鏡開き



▲吉田三津子道場による「湊くり・高離り」



▲金城恵美子研究所による「器楽合奏」

国頭地区小中学校 童話・お話・意見発表大会

十一月十日、町内の小中学校、金武公会堂、並里区公民館で、第十六回国頭地区小中学校童話・お話・意見発表大会が行われました。

今回、金武町での開催となった同大会には、北部市町村から七十二名が参加し、小学校低学年・高学年、中学校のそれぞれ男女に分かれて発表を行いました。

金武公会堂では、中学生女子による意見発表が行われ、十二名の生徒が素晴らしい意見発表を行いました。その中から、金武中学校代表の渡嘉敷恵里さん(三年)と久辺中学校の比嘉夏鈴さん(二年)が最優秀賞に輝き、県大会への派遣が決定しました。なお、各部門の最優秀賞は次のとおりです。



▲各学校の代表者と最優秀賞の渡嘉敷さんと比嘉さん

部 門	市町村	学校名	学年	氏名	演 題
小学校低学年 男子	伊江村	西小学校	1	上地 奏楽	にわとりとりゅう
	名護市	名護小学校	2	森 祐介	えんま大王と三人の男
小学校低学年 女子	名護市	名護小学校	2	仲本 めい	かばのびようたいそう
	名護市	東江小学校	2	金城 詩乃	カナシーと赤おに
小学校高学年 男子	名護市	東江小学校	5	島袋 凌	やってやるぞ
	伊江村	西小学校	6	知念 将利	初めての挑戦
小学校高学年 女子	名護市	安和小学校	5	池原 美紀	私たちの大きな挑戦
	伊平屋村	伊平屋小学校	4	仲本 めい	世界一のお父さん
中学校 男子	本部町	本部中学校	2	上原 李輝	一円の重み
	今帰仁村	今帰仁中学校	1	星 敏史	父の死を超えて
中学校 女子	名護市	久辺中学校	2	比嘉 夏鈴	伝え合う心
	金武町	金武中学校	3	渡嘉敷 恵里	フードロスを考える

第四回 読書フェスティバル

十一月三日の文化の日、町立図書館で、第四回読書フェスティバルが、約百名以上の親子連れ等が参加して行われました。

同フェスティバルでは、町立図書館司書と並里区方言収録委員会による「オランダ森とエーグ石」の共同実演や、学校読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせ等が行われました。

また、沖縄女子短期大学非常勤講師の池間多美子さんを講師に迎え、「絵本の力育てに絵本を」をテーマに講演会が行われ、



▲お話の部屋で遊ぶ子どもたち



▲紙芝居の様子

参加者は熱心に耳を傾けていました。講演中には図書館司書による、「お話の部屋」も開かれ、パネルシアターや絵描き歌で、小さな子どもたちも楽しんでいました。

町立図書館の仲田館長は「たくさんの方が参加してくれて大変喜んでいいます。これからも金武町の読書人口を増やす活動を継続していきたい」と述べ、今後の活動に意欲をみせていました。

じゃがいもたくさんできますように！



▲はやくじゃがいもできるといいなあ

十月二十九日、町社会福祉協議会ふれあい農園に、町内の保育園児たちが、じゃがいもの植え付けを行いました。園児たちは「たくさんできますように！」と願いを込めながら、一生懸命にじゃがいもを植え、収穫の期待に胸を膨らませているようでした。

今回、植えつけられたじゃがいもは、二月頃に収穫する予定となっています。

民俗芸能を堪能



▲中川区婦人会による「エイサー」



▲屋嘉区芸能保存会による「恩納節」



▲鮮やかな衣装と舞で観客を魅了した「毬舞」

11月1日、町立中央公民館大ホールで、第15回金武町民俗芸能祭(主催:金武町教育委員会)が行われました。

今回は金武区伝統芸能保存会による「ミルク・獅子舞」、並里区伝統芸能保存会による「棒かじゃで風」、中川区婦人会による「エイサー」、屋嘉区芸能保存会による「恩納節」の他、町外からも琉舞かなの会による「^{かんまい}棹舞」、南城市佐敷字津波古獅子蹴跳(舞)保存会および八重瀬町志多伯獅子舞棒術保存会による「毬舞」が披露されました。

「^{まりまい}毬舞」では、色鮮やかな衣装での舞いと、獅子と戯れる演舞で観客を魅了し、獅子に乗って退場する際には大きな拍手が送られていました。



▲会場から登場した「ミルク」



▲軽快に跳ねる「^{かんまい}棹舞」



▲勇壮な「棒かじゃで風」

笑いと涙の沖縄芝居

十月二十五日、町立中央公民館大ホールで、劇団「美ら芝居」金武公演(主催:金武町文化振興事業実行委員会)が行われました。

劇団「美ら芝居」は、宜野座村在住のメンバーを中心とした沖縄芝居劇団で、今回の金武公演では、喜劇「家庭円満菓子」、教訓劇「丘の一本松」の二作が披露されました。



▲コミカルな動きで笑わせた喜劇「夫婦円満菓子」

第一部の喜劇「家庭円満菓子」では、演者のコミカルな動きに、観客からは絶え間なく笑いが起こっていました。また、第二部の教訓劇「丘の一本松」では、父子のやりとりで笑いが起こりましたが、クライマックス父子が抱き合うシーンでは客席からすすり泣く声も聞こえ、笑いあり、涙ありの素晴らしい公演に、観客からは盛大な拍手が送られていました。



▲涙を誘った「丘の一本松」

金武地区幼年消防クラブ 防火フェスティバル



▲防火の誓いを守って敬礼!

十一月十二日、町立中央公民館で、第十三回金武地区幼年消防クラブ防火フェスティバルが行われ、金武町、宜野座村、恩納村の三町村から、「火の用心」のはつぴを着た保育園児が集まりました。駐車場では、消防車や救急車が公開されており、園児たちは楽しそうに記念撮影を撮ったり、見学したりしていました。



▲消防車に乗って大満足!

その後、大ホールに場所を移し、全員で「私たちは絶対に火遊びはしません」「お父さん、お母さん、先生方の教えを守ります」「私たちは元気な明るい子になります」「私たちは守ります火の用心」と、防火の誓いをしました。

レキオスFCがビーチサッカー全国大会で3連覇!



▲3連覇を達成し、役場を表敬訪問したレキオスFCのみなさん

宜野湾市のトロピカルビーチで行われた、全国ビーチサッカー大会2008で、金武町に拠点を置くレキオスFCが、同大会3連覇を達成しました。

順当に勝ち上がったレキオスFCは、決勝戦で同じ沖縄県から出場しているソーマプライアと対戦しました。両チームは、同大会の県予選、金武町長杯の決勝でも対戦しており、いずれもソーマプライアに軍配があがっていました。悔しさをバネに、チームがひとつになって挑んだ決勝戦では、終始試合をリードし、8対4でソーマプライアを破り、雪辱を果たしました。

10月21日には、町役場を訪れ、儀武町長らに優勝を報告しました。



▲盛り上がったグランドゴルフ・ホールインワン競技

いつまでも「明るく・楽しく・睦まじく」

すっきりした秋晴れの下、十月二十五日、町営グラウンドで、金武町老人クラブ連合会運動会(仲間輝久雄会長)が行われました。運動会では、グランドゴルフ・ホールインワン競技や恋人探し、チャンプブリーレー等の競技が行われ、参加した老人クラブ連合会のみなさんは、チーム通りは、「明るく・楽しく・睦まじく」笑顔で、気持ちのいい汗を流していました。

職業訓練生(2月入所生)募集のお知らせ

求職者のみなさまを対象として早期就職の促進を図るための職業訓練生を募集します。

☆介護サービス科

(デュアルシステムコース)

訓練内容 ヘルパー2級等の資格を取得するための学科と実技を学び、職場実習を行います。

訓練期間 平成21年2月2日(月)～5月29日(金)

定員 25名

資格 訪問介護員(ホームヘルパー)、居宅介護従業者2級等

対象者 ①過去5年以内において、おおむね3年以上継続して常用雇用されたことがない方。
②子育て終了後の女性及び母子家庭の母親等。

☆IT関連事務コース

訓練内容 ビジネスに必要な財務、経理の知識、技能を習得。併せて情報技術の基礎技術を習得します。

訓練期間 平成21年2月4日

(水)

～4月30日(木)

定員 20名

資格 ワープロ検定、表計算検定等。

対象者 雇用保険受給資格及び一般求職者。

☆両コース共通

募集要項配布日

平成20年12月8日(月)

～12月25日(木)

受付日 平成20年12月26日(金)9時～17時まで

定員 20名

適性検査 平成21年1月15日(木)

対象者 雇用保険受給資格及び一般求職者。

申込先 ハローワーク沖縄 ☎ 098-939-3200

お問い合わせ先 独立行政法人雇用・能力開発機構

沖縄北部雇用能力開発総合センター(名護市豊原224-3)

金武町情報公開及び個人情報保護制度 運営審議会委員の公募について

金武町情報公開条例及び金武町個人情報保護条例の規定に基づき、金武町情報公開及び個人情報保護制度運営審議会が設置されています。

この制度の適正かつ円滑な運営及び改善を図ると共に、町民の皆様から広くご意見をいただくため運営審議会の委員を公募致します。

- ①**公募人数** …… 公募委員は、町民から3人
- ②**応募資格** …… 情報公開制度及び個人情報保護制度の運営に関心のある者で、年齢が20歳以上の町内在住者
- ③**応募方法** …… 総務課に設置してある指定の応募用紙に必要事項を記入し、公募期間内に総務課まで直接持参又は郵送すること。
- ④**公募期間** …… 平成20年12月8日(月)～12月19日(金)
- ⑤**決定方法** …… 公募人数を超えた場合は、原則として抽選とする。
- ⑥**委嘱状の交付** …… 公募の結果、決定者には委嘱状を交付する。
- ⑦**問い合わせ** …… 金武町役場総務課
電話 968-2111 (有) 8-2111

結核予防複十字シール募金運動へのご協力についてのお礼

結核予防複十字シール募金運動は、8月1日から12月31日にかけて全国的に展開されており、町民の皆さまから集められました募金は739,100円となりました。

寄せられた募金は、財団法人 結核予防会沖縄県支部を通じて、結核予防の普及啓発や広報、胸部検診の機器整備、胸の病気(結核、肺がん等)の調査研究事業、開発途上国への結核対策援助などに用いられることとなります。

町民の皆さまのご理解とご協力、
誠にありがとうございました。

問い合わせ先：金武町総合保健福祉センター
担当：喜久川
☎098-968-5932
(有)8-5932

赤十字募金へのご協力ありがとうございました

赤十字募金(赤十字社員増強運動)が5月1日から全国一斉に展開されました。金武町でも多くの方にご協力をいただき、11月1日現在で1,636,706円の募金が寄せられました。皆さまのご協力ありがとうございました。

寄せられた募金は、赤十字の国際救援活動・地域災害救助活動・血液事業など幅広い事業で活用され、本町においては住宅火災の被害にあった罹災者に対し、災害救援物資(毛布・緊急セット・衣類セット)が支給されました。

今後とも赤十字等の活動に、一人でも多くの
皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

収納額……………1,636,706 円

- 一般社費…1,515,706 円(協力世帯2,934世帯)
- 法人社費…121,000 円(14件)

問い合わせ 金武町役場保健福祉課 赤十字担当
☎968-3559
(有)8-3559

国民年金保険料の収納業務に係る民間委託(市場化テスト)

沖縄社会保険事務局では、沖縄県の国民年金保険料の収納対策強化として、平成20年10月より保険料未納者に対して納付督促業務(電話・文書勧奨、戸別訪問等)を下記事業所へ委託しています。

……………【委託事業者】……………
エー・シー・エス債権管理回収株式会社



第4回

金武町自然体験まつり



十一月二日、ネイチャーみらい館で、第四回金武町自然体験まつり(主催…金武町企画運営・NPO法人雄飛ツーリズムネットワーク)が行われました。

会場には、町内外から訪れた親子連れ等で賑わい、カヌーや漆喰シーサー、紅型、木工、農業、田んぼ遊び等の様々な体験プログラムを楽しんでいました。

一番人気のカヌー体験では、開始時刻から終了時刻までたくさんの参加者で賑わい、気持ちよさそうにカヌーを漕いでいました。また、田んぼ遊び体験では、子どもたちが泥だらけになりながら、追いかっこをしたりドッジボールをしたりと、楽しそうに遊んでいました。

特設ステージでは、金武区青年会によるエイサーや松竹梅等の伝統芸能や、金武町親父バンド、ERRY、松田一利によるライブ等も行われ、会場を盛り上げました。まつりの最後を飾った『しゃかり』のライブでは、テンポの良い曲に合わせて観客もカチャーシーを踊りだすなど、会場がひとつになり、盛り上がりを見せていました。

来場者は、様々な体験を通して、金武町の豊かな自然を満喫していました。



▲泥だらけになって田んぼではしゃぐ子どもたち



▲順番待ちも出たカヌー体験

金武町の
自然がいっぱい!



▲情感を込めて歌った「ERRY」のライブ



▲金武区青年会による「松竹梅鶴亀」



▲カチャーシー等で盛り上がった「しゃかり」のライブ

編集後記

皆様、師走のひと時、いかがお過ごしでしょうか。早いもので、平成二十年も残りわずかとなりました。私にとりまして、この一年は自分自身や周りの環境が大きく変化し、とても充実した一年となりました。皆様にとってはどのような年だったでしょうか。

今年の金武町は明るいニュースがたくさんありました。世間の暗いニュースに目が行きがちになり、沈んだ気分になることもありますが、周りを見渡すと、明るいニュースや一生懸命頑張っている人達がいっぱいいます。小さな町の小さな出来事かも知れませんが、町民に希望を与える素晴らしいことなのだと思います。私も今年一年の取材を通して、町民の皆様から、多くの感動をもらい、同時に色々な事を学ばせていただきました。ありがとうございます！

さて、話しは変わりますが、師走は行事が満載でございます。「今年もいい年だった」と思えるように、嫌なことも笑い話になるように、一年の終わりを楽しく過ごしたいものです。

さあ皆様。節度をもって清く正しく浮かれましょう。